

蚊 意外にキケンあり。



マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症といった、蚊が媒介する感染症が、世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しているのをご存じでしょうか。

「蚊にさされた程度で」とあなどるなかれ、

場合によっては命にかかわる病気にかかることも。

海外の蚊には意外にキケンがいっぱいなのです。

熱帯・亜熱帯地域へ旅行されるみなさま、現地では長そでと長ズボンの服を着たり、

虫よけスプレーや蚊取り線香を使ったりして、蚊にさされないよう十分にご注意ください。

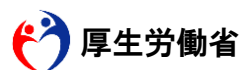
現地で蚊にさされて熱が出た場合は、早急に医療機関を受診してください。

帰国時に発熱などがある場合には、検疫所の担当官にご相談ください。



in Foreign Countries

海外では、動物と距離をとろう。
Please Keep Your Distance.



キケンな蚊、どうする蚊？

さされないために何が出来る蚊？

長 所で、長ズボンの服を着用し、肌を出さないよう心がけましょう。

虫 よけスプレーや蚊取り線香、殺虫剤を積極的に使いましょう。

夕 方はもちろん、昼夜も、また都市部（特に家の中）でも注意しましょう。

さされるとどんな病気にかかるとの蚊？

マ ラリア

【症状】

寒気、発熱、息苦しさ、目の充血、嘔吐、頭痛、筋肉痛

【特徴】

全世界で年間、2億人の患者、約43万人以上の死亡者が報告されています。

媒介する蚊は、山間部や田園地帯を中心に日没後に出没します。夜間の外出は注意しましょう。

【媒介する蚊】

ハマダラカ

ジ カウイルス感染症 **デ** ング熱 **チ** クングニア熱

【症状】

発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛

【特徴】

3つの感染症は似た症状を示しますが、ジカウイルス病は、症状が比較的軽いです。

東南アジアやアフリカ、中南米などの、熱帯・亜熱帯地域で流行しています。

媒介する蚊は日中、都市部（時に家の中）にも出没します。

流行地域では虫除け剤の使用や、長袖・長ズボンを着用して素肌を露出させない等、蚊に刺されないように注意しましょう。

【媒介する蚊】

ネッタイシマカ

ヒトスジシマカ

海外でさされたら何をすべき蚊？

海 外で蚊にさされて熱が出た場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。

帰 国時に発熱や心配な症状がある方は、検疫所の担当者にご相談ください。